

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和5年 3月31日

(あて先)松本市長

(申請者)
住 所 松本市中山3746-1
団体の名称 中山地区地域づくり協議会
代表者氏名 会長 小林 弘也
電 話 番 号 58-5822

地域づくりセンター確認欄
中山地区地域づくりセンター長 金山 博文

令和4年4月6日付け松住地指令第1-4号で交付決定を受けた松本市地域づくり推進交付金について、事業が完了したので、松本市地域づくり推進交付金交付要綱第11条の規定により、下記のとおり報告します。

1 交付決定額

I	金 550,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：高齢者元気づくり事業	
実施主体	中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日
実施場所	地区内遊休荒廃地他
事業概要	高齢者の元気づくり、生きがいづくりを目的に、中山の資源である農地を利用し、高齢者が気軽に栽培できる農作物を模索する事業。 事業実施にあたっては、以下の2点に留意する。 (1) 体力的にあまり負担がかからないこと (2) 需要及び販路が確保されており、多少なりとも利益が出ること。 昨年度に引き続き加工トマト、花豆、エゴマの栽培を実施し、また地域に多く自生する竹の有効活用についても検討していく。
地域づくりの成果・効果	事業の目的とした、事業に参加した住民には、元気づくり、相互見守り、相互交流を図る事が出来た。 花豆、エゴマは非常に人気の食品であるため、地区行事等で販売すると即完売となった。 遊休荒廃地の活用により、環境維持の一端となった。
課題	参加する住民が高齢者中心である為、一部の作業に省力機械設備等を準備したいが、資金の余裕が無い。

	若い住民に参加の声掛けを継続し、毎年若干名の参加はあるが、なかなか大勢の若者に参加して貰えない。この点については、地域活性化のための広報に一層の工夫が必要であると思料される。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	798,796円	118,800円	0円	679,996円

a:本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b:前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c:この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 公民館カフェ				
実施主体	中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中山公民館講座室、中山地区福祉ひろば			
事業概要	公民館講座室にてカフェを実施し、住民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場を提供する。火・金曜日の週2回、午後1時30分から4時まで実施し、19名のボランティアスタッフがコーヒーを提供する。後述のふるさとなかやまだより、地区ホームページなどを活用し広く住民へ周知・PRを行う。			
地域づくりの成果・効果	令和4年度も新型コロナ禍の影響で、一部の月は開催を見送った。しかしながら、前年度より活発に活動ができた。公民館だより、ホームページ等での呼びかけで週2回の公民館カフェには毎回多くの方にご参加いただき、交流の場となった。また、参加された方々の表情はいきいきしており、元気づくり、居場所づくりの一助となった。			
課題	参加者の多くが固定化されているため、公民館だより、ホームページを活用し、新たな参加者を募っていく。 引き続き、参加者に安心して来ていただけるよう、パーテーションやテーブル等用品については衛生管理を徹底する。今後は、歌声喫茶等の開催を検討する。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	257,950円	96,600円	0円	161,350円

③ 事業名： 公民館カフェボーイ				
実施主体	中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中山公民館、中山地区福祉ひろば他			
事業概要	公民館活動への男性参加者増、サラリーマン生活をリタイヤした男性の居場所づくりを目的に、公民館料理実習室にてこだわりの焙煎コーヒーの勉強会を実施し、住民が気軽に立ち寄れるコミュニケーションの場を提供する。毎月第3水曜日を定期開催日としており、この他各町会にて実施されるふれあい健康教室にも参加し、コーヒーを振る舞うなど活動の幅を広げている。			

地域づくりの 成果・効果	公民館だより、ホームページ等での呼びかけで毎月第3水曜日の実施では、10数名ずつの参加があり、地区内では活動が浸透しつつある。これを発展させ、男性の料理教室、男性の体操教室等、地区住民の居場所づくり、元気づくりの一助となれるよう、活動を継続していきたい。			
課題	参加者が固定化しないよう、広く呼び掛けていく必要がある。 参加者に安心して来ていただけるよう、パーティションやテーブル等用品については衛生管理を徹底する。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	88,350円	a 10,000円	b 0円	c 78,350円

④ 事業名： ボランティア活動支援事業				
実施主体	中山地区地域づくり協議会 福祉対策部会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	地区内一円			
事業概要	昨年度に引き続き、各町会のボランティア組織に対し、ボランティア活動を実施する地域住民の保険料や、除雪機等への燃料代について一定程度を交付金で補助し、財政面での支援を行った。			
地域づくりの 成果・効果	継続したボランティア活動を支える保障となり、安心・安定した取り組みの支援に繋がっている。			
課題	中山地区全6町会でボランティア組織が設立されてはいるが、地区住民の全般的な「困りごとの解決」に対応できるまでの組織とはなっていない。 引き続き、令和3年度に中山地区に地区生活支援員を配置され、同年度内に支援員が中心となり「助け合おうぜ中山」という新ボランティア組織を立ち上げた。これをきっかけに各町内会内の支えあいの強化を働きかける。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	85,000円	a 85,000円	b 0円	c 0円

⑤ 事業名： 防災・環境保全事業				
実施主体	中山地区地域づくり協議会 防災・環境保全対策部会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	地区内一円			
事業概要	1 防災事業 防災に関する研修会や学習会を開催し、住民の意識高揚と啓発を図った。 2 環境事業 平成28年度、29年度に植栽した芝ぎくらの植え替え、除草作業を実施した(3回)。			
地域づくりの 成果・効果	1 防災事業 研修会、学習会に参加することで、自身の役割を理解することができ、防災意識の向上に繋がった。部会での知識・経験を活かし、地元町会での防災活動に繋げること			

	<p>ができた。</p> <p>2 環境事業(芝ざくら植栽) 各町会から延べ80名の住民の参加があった。 中山地区を通る交通量の多い県道沿いを整備することで、景観向上、地域住民の環境美化意識の向上に繋がった。 地域住民が協力し合いながら作業することで、地域住民の絆づくりにも寄与できた。</p>			
課題	<p>1 防災事業 防災訓練の継続的な実施 防災備品を購入し避難所設備の充実を図る。</p> <p>2 環境保全事業 定期的な草刈り等の管理が必要。 より多くの住民が地区の環境美化に興味・関心を持ち、積極的に作業に参加してもらえるような仕組みづくりが必要。</p>			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	199,920円	a 156,013円	b 0円	c 43,907円

⑥ 事業名： なかやま体験フェスタ				
実施主体	中山地区地域づくり協議会 地域活性化部会			
実施日(期間)	令和4年9月23日～9月25日			
実施場所	地区内一円			
事業概要	中山地区は市内でも少子高齢化が進んでいる地区だが、令和元年度に作成した地区紹介カタログを元に地区内外の交流人口の増加を目的に体験型ワークショップのイベントを行った。			
地域づくりの成果・効果	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中山各地でワークショップを分散型で行った。また、開催日を3日間にする事で、複数のワークショップに参加することができた。また、松本大学の学生3名にプロジェクトに参加してもらい、学生主体のワークショップ、動画撮影等を協力いただいた。			
課題	中山の歴史文化に詳しい方で、本事業でのガイドができる方が年々減っているため、新たな後継者の発掘・育成について模索していく。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
	10,000円	a 10,000円	b 0円	c 0円

⑦ 事業名： 中山ホームページ運営事業	
実施主体	中山地区地域づくり協議会
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日

実施場所	https://www.chiiki-nakayama.com/			
事業概要	地域づくり協議会で中山のホームページを運営し、イベントや魅力の発信を行う。			
地域づくりの成果・効果	地域づくりセンター事業、公民館事業、福祉ひろば事業、地区行事、サークル紹介などをホームページ上へ頻繁に更新することで閲覧者が伸び続けており、東京や海外からのアクセスもある。			
課題	各種事業を開催した結果報告だけでなく、イベント告知や募集企画などを検討していき、さらに閲覧者を増やしていきたい。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	16,407円	16,407円	0円	0円

⑧ 事業名：地域づくり活動発信事業				
実施主体	中山地区地域づくり協議会			
実施日(期間)	令和4年4月1日～令和5年3月31日			
実施場所	中山地区(地域住民に全戸配布)			
事業概要	平成29年7月創刊の全戸配布の広報紙「ふるさとなかやまだより」(地域づくり協議会ニュース及び公民館・福祉ひろばニュース)の一層の紙面充実に努め、ホームページと共に広く情報発信を行う。			
地域づくりの成果・効果	A3両面フルカラーで見やすさや紙面の充実に図ってきたこともあり、「毎月拝見している」、「目に付くところに貼って予定を確認して公民館事業、ひろば事業に参加している」などの声が直接届くような場面が増えてきた。公民館事業、福祉ひろば事業他地域づくり活動の情報紙として徐々に住民へ浸透してきたと感じる。			
課題	情報発信チームを設置し、地域づくり協議会の各部会から情報提供を呼び掛けているが、なかなか集まらないため、チームの在り方をこれから検討していく。			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	57,180円	57,180円	0円	0円

決算額(計) (①+②+③)	A+B+C	財源内訳		
		A	B	C
	1,513,603円	550,000円	0円	963,603円

A:各事業のaの合計額

B:各事業のbの合計額

C:各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名:	
積立目的	

積立期間	年度から 年度まで（本年度 年目）				
積立ての目標金額	円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計	
	前年度までの積立経過	1年目	円	円	円
		2年目	円	円	円
		3年目	円	円	円
		4年目	円	円	円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D 円	E 円	F 円	
	合計額				
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体					
実施日(期間)					
実施場所					
事業概要					
地域づくりの成果・効果					
決算額	E+G	財源内訳			
		E	G		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続(年度まで)・廃止					
廃止する場合は、積立金残高(F)の処理方法					

E: 充当した積立金の額

G: その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	0円
-------	---	----

[参考] 繰越上限額 = $I \times 2 / 10$

3 添付書類

- (1) 事業実施が確認できる資料(チラシ・パンフレット、写真、新聞記事等)
- (2) 積立をおこなった場合は、松本市地域づくり推進交付金積立承認通知書の写し